

# 心の原風景 —我が母校—

## 佐渡市立松ヶ崎小学校

平成23年度で創立138年を迎えた松ヶ崎小学校の教育目標は「豊かに、たくましく、伸びる子ども」です。

現在児童数は、13名で複式3学級で学習しています。どの学年も1名から3名の少人数ですが、小規模のよさを活かし、多くの教育活動を全校体制で行っています。おかげで学年の枠を超えたかわりが日常的に見られ、仲のよい落ち着いた学校生活を送っています。

また、地域と一体となった学校行事は、学校の規模を感じさせない賑わいとなります。特に運動会と文化祭は、自治公民館と連携した地域密着型の学校行事です。

本校の特色ある教育活動の一つに「遠泳大会」があります。今年度は82回となる遠泳大会は、全校



遠泳大会

児童が松ヶ崎の海岸に沿って泳ぎます。個人の泳力によって泳ぐ距離は異なりますが、最長1kmに挑戦します。漁船による安全監視、トライアスロンクラブや地域住民による伴泳など、地域から多くの協力を得て続けられている伝統ある行事です。

もう一つは全校エンカウター（人間関係づくり）です。適切な人間関係を育む力や社会性など、集団生活を営む上で必要とされるスキルを全校で学習します。学級や学年で学ぶ機会に加え、心を育てる教育活動も



全校エンカウター

全校で行えるのも少人数だからこそです。自分理解や他者理解、気持ちを適切に伝える方法などを、ゲーム的要素を取り入れた楽しい活動を通じて学びます。自分自身や友達に対する新たな気付きが見られ、毎回来しい雰囲気の中で学習しています。平成24年4月から松ヶ崎小学校と松ヶ崎中学校は連携校としてスタートします。これまでの伝統ある教育活動を継承しつつ、時代に即した改善を取り入れた教育活動を推し進めていきます。

◆教育委員会学校教育課（両津支所内）  
☎23 | 4 8 9 8

## ジオパーク、推進日記

⑪

### 市民講座、無事修了式を迎えました

昨年に引き続き今年度も開講した「ジオパーク市民講座」は、今年1月に修了式を迎えました。今年度は、47名の市民が受講してくださりジオパークの基礎となる日本海の誕生や佐渡島の成り立ちなどについて講義や実習、巡検を通して学びました。

最初は、難しいと感じていた受講生たちも回を重ねるごとに興味



ジオパークについて  
真剣に学ぶ受講生たち

来年度もジオパーク推進室では市民講座を開講する予定です。「ジオパークってなんだろう？」という方から、「地学に興味がある！」という方、そして、「ジオパークのガイドになりたい！」という方で、大勢の方のご応募お待ちしております！

◆教育委員会社会教育課 ジオパーク推進室（両津郷土博物館内）  
☎23 | 2 1 0 0

## ミニコラム

先月8日に佐渡付近を震源とする震度5強の地震が発生し、市内が大きく揺れました。地震は、大地・地球の活動の中で起こります。ジオパークでは、地球の活動を学び、日々、活動する大地の上に人々が暮らしていることを理解することも目的の一つとなっています。

今回の地震はマグニチュード5.7 でした。マグニチュードは地震の規模を表す値で数値が1違うごとに32倍の威力（エネルギー）が増します。1802年に発生した小木地震はマグニチュード6.6～6.8と推定されていますので、先月発生した地震の32倍の規模であったと考えられます。この小木地震で海底が2m余りも持ち上がったのも納得できます。